

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 斐太高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和8年2月9日(月) 14:00~16:00

3 開催場所 斐太高等学校 有斐会館 会議室

4 参加者
会長 丸山 泰正 前育友会長
副会長 水口 浩美 高山市国府支所次長 (欠席)
委員 池畠 尚哉 育友会長
坂井 歩 高山自動車短期大学学長
清水 大地 株式会社清水弥生堂代表取締役
廣田 早苗 有斐会副会長
松井 瞳子 前育友会役員
丸山 純平 高山市議会議員・飛騨ジモト大学事務局
山下 八恵子 育友会役員

学校側
中村 浩一 校長
大滝 陽子 事務部長
足立 宏 教頭
駒澤 誠二 教務主任
日比野 恭一 進路指導主事 (欠席)
邑上 浩司 生徒指導主事
清水 潤 特別活動部長
中村 香月 探究活動推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 施設及び授業見学について

創立140周年記念式典事業として建設中の倉庫及び高等学校DX加速化推進事業で整備し活用している探究ルーム並びに総合的な探究の時間を見学。

①施設見学について

意見1：探究ルームは活動しやすい環境に整備されている。今後はより効果的に活用することが重要である。

②授業見学について

意見 2 : 1 年の総合的な探究の時間では、来年度の探究活動に向けてテーマを考える活動を行っていたが、その中で生徒が活用していたワークシートには、これまでの探究活動で蓄積された知見により、主体的にテーマを設定する工夫が感じられた。

(2) 今年度の報告と自己評価及び体年度の学校運営について

①探究活動について

意見 1 : 1 月末の探究活動発表会を見学したが、どれも興味深い発表であった。一方、保護者の参観の少なさが気になった。もっと保護者に対する周知方法を改善する必要がある。

⇒ 2 年次生と 1 年次生の一部が発表の主体であるため、その保護者に対して、周知している。周知方法や周知する保護者の範囲について検討したい。

②海外研修について

意見 2 : 海外研修は費用が高くなっているが、海外研修を経験した生徒の成長は大きいため、目標が達成できる効果的な場所や研修期間を検討するなど工夫し継続した方がよい。
⇒ 来年度の海外研修について、行程や行先も含めて検討する。

③生徒指導について

意見 3 : 来年度 4 月から、自転車運転に関する青切符制度が導入される。生徒だけでなく、保護者に対しても周知する必要がある。

意見 4 : 情報モラルや闇バイトの危険性について、生徒に対して警察署と連携した講話をしたことは評価できる。今後も継続してほしい。

意見 5 : 生成 A I の回答を過信しない指導や、SNS の危険性等についての指導を継続してほしい。

④中学生に対する広報について

意見 6 : 中学生に本校の魅力を伝えるためには、保護者に魅力を伝えることが大切である。保護者間の口コミによっても広がるため、より在校生の保護者に対し本校の魅力を発信することが重要である。

意見 7 : 本校は出身校であるが、当時は「のびのびとした伝統校」「青春を謳歌できる高校」のイメージで進学を希望した。現在は、過去と異なる価値観をもって進学先を選択する家庭もあるのではないか。

6 会議のまとめ

- ・ 第 3 回学校運営協議会では、今年度整備した施設と探究活動の様子を見学後、学校から今年度の学校運営に対する報告を受け、委員が来年度の学校運営に対して課題や提案を出し合い、解決に向けた方策を探った。
- ・ 各委員からの意見を反映し、来年度の学校運営を進めていくことを確認した。